

## 第3章

# 分析シート（学校用）の活用

とっとり学力・学習状況調査分析シート  
（学校用）の説明や、その活用のポイント  
について掲載しています。



# とっとり学力・学習状況調査分析シートの活用方法について

## Ⅰ 分析シート紹介

とっとり学力・学習状況調査でわかること	学校用1 (10年間分)	学校用2 (3年間分)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学力レベル</li> <li>・主体的・対話的で深い学びの実施</li> <li>・学習方略</li> <li>・非認知能力</li> </ul>	○	○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県において学力が上位10%・25%、 下位10%・25%の割合</li> <li>・4層それぞれにおいて、伸びた生徒の割合</li> <li>・学力を伸ばした生徒の割合</li> <li>・学力の伸び率</li> </ul>	○	○
<ul style="list-style-type: none"> <li>・自己効力感</li> <li>・学力値と学力の伸び</li> </ul>	—	—

## 2 分析シート(学校用1、2)について

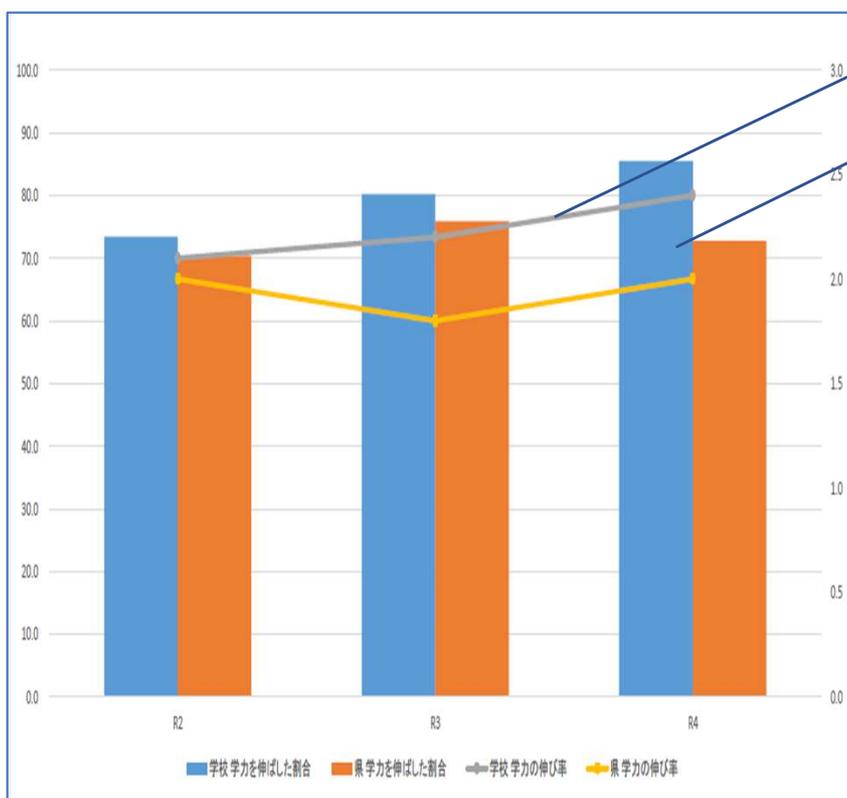
### 分析シート(学校用1)の特徴

- 学年の経年変化を見える化。学校の同じ学年の傾向を見取ることが可能。
- 10年分のデータを蓄積し、表示。

### 分析シート(学校用2)の特徴

- 同一集団の経年変化を見える化。同一集団の学力レベルや非認知能力、学習方略の数値の経年変化を見取ることが可能。
- 3年分のデータを蓄積し、表示。

## 学力分析(伸ばした児童生徒の割合)



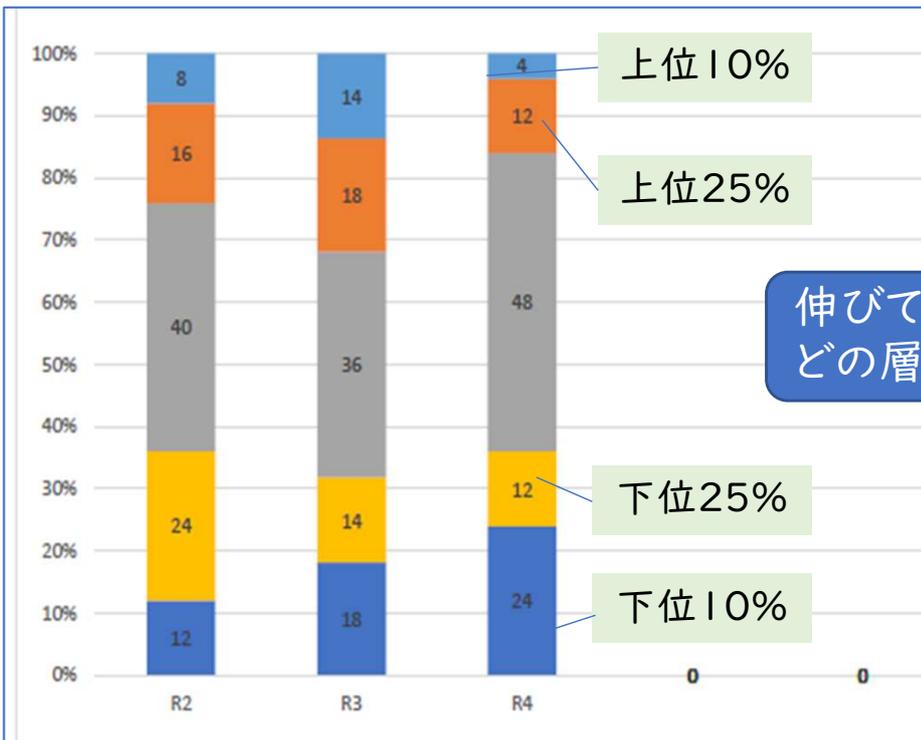
「伸び率」

「伸ばした児童生徒の割合」

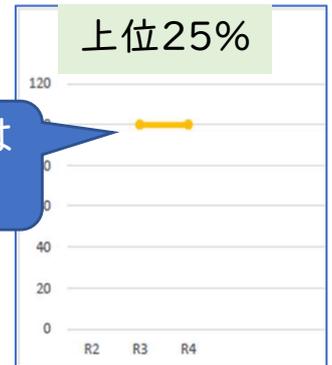
教科ごとに、学力レベルを1つでも伸ばした児童生徒の割合と学力の伸び率(伸ばしたレベル)について棒グラフと折れ線グラフで表示しています。

学力を伸ばした児童生徒の割合や伸びたレベルがどのように変化しているのか経年で把握することができます。

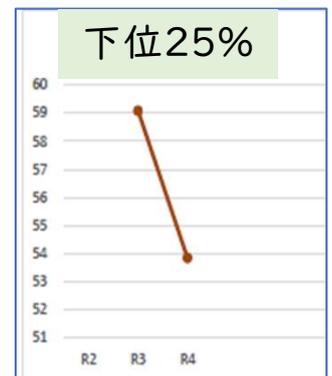
# 学力分析（上位・下位 児童生徒の割合）



伸びた児童生徒の割合



伸びているのはどの層？

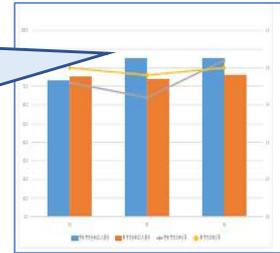


学力レベルについて、鳥取県内の上位10%、25%、下位10%、25%の生徒がどのような割合でいるのかについて、経年で把握することができます。あくまで相対的な評価となりますが、学校の教育効果についての指標とすることもできます。また、どの層が多いのかを確認することで授業づくりの参考にもできます。

## 分析シート(学校用1、2)の活用

### 自校の教育成果の根拠として活用

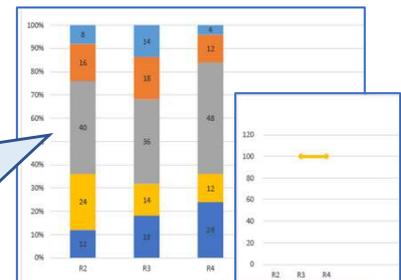
伸ばした児童生徒の割合が大きくなってきている。学校の取組として行っている、〇〇タイムの成果が出ているかもしれない。より充実させよう!



### 校内研究のテーマ設定の根拠資料として活用

### 校内研究成果の指標として活用

算数を校内研究のテーマにしているから、上位層・下位層の割合と伸ばした児童生徒の割合を研究の成果指標の1つとして活用しよう!



## 3 分析シート活用のコツ

- 1 学校に必要なデータを選択して活用してください。
- 2 解釈や取組に正解はありません。だからこそ、チームで知恵を出し合ってデータを活用してください。
- 3 小中連携の資料の一つとして活用してください。お互いの様子を確認するだけでも新たな発見があるはずです。
- 4 小学校では、4、5、6年生だけの取組とならないように、学校全体で取り組むことが大切です。
- 5 中学校では、国語と数学だけの取組とならないように、学校や学年全体で進めることが大切です。